

2017/10/23

## 工場見学を通して学んだこと

学籍番号 160211009

氏 名 荒貝 結依子

今回の工場見学を通して普段身近にあり口にするものの製造工程を学ぶことができました。

まず初めに西尾の抹茶ミュージアムへ行きました。ここでは抹茶製造工程を見学しました。普段からお菓子など身近にある抹茶でしたが自分が思っていた以上に国内産の抹茶を使った製品は多く、日本だけでなく世界でも抹茶製品が愛されていることに驚きました。また、抹茶の製造工程では茶臼で引く際に一定の速度でなければいけなかったり、明るくてはいけなかったりと様々なところに気を使わなくてはいけないことがわかりました。また茶臼の目の模様なども関係していることを知りました。抹茶に関しては普段加工された状態で目にすることはありますが、粉の状態ではあまり見たことがありませんでした。渡したとの手元に届くまでにいろんな工程があるのだなと感じました。

次に行ったのはヤクルトの乳製品工場です。ここではヤクルトを容器に入れて梱包されるまでの流れを見ることができました。ただ容器に入れていくだけでなくそこにたどり着くまでに殺菌や容器の検査などが行われていました。最後は一本に入っている乳酸菌の個数などを調べており徹底しているなと感じました。またヤクルトの原液を入れているタンクを洗っているところを見学することもできました。タンク内に入るときは長靴を履き替えたり、もう一人が外で待機していたりとさまざまな事故が起きないように工夫がされていました。他にもヤクルトが誕生するまでの歴史も学ぶことができました。ヤクルトの創始者である代田稔さんの考え方としてある予防医学、建腸長寿、誰もが手に入れられる価格での三つがなかったら今このようにしてヤクルトは誕生してなかったかも知れなかったのだなと感じました。

今回抹茶ミュージアムとヤクルトの乳製品工場の見学をして、どちらも普段身の回りにあり、よく口にするものなのにこんなにも様々な工程で作られていることを知らなかったことに驚きました。今回の二箇所以外で見学した商品以外にも世の中にはたくさんのものが溢れています。普段から何も考えずに使い、食べていますがそのものたちには製造されるまで様々な工程や歴史があるのだなと感じました。この工場見学を通してこれから身の回りのものの製造工程や

2017/10/23

歴史など普段目を向けないようなところへも興味を持っていきたいです。